

都立竹台高等学校(全日制課程)

【校長】 福島 泰直
【生徒数】 742名
【学級数】 20学級



【実態・目標】

- 規則正しい生活習慣が身に付いていない生徒が多く、遅刻者数が多い。
⇒社会に貢献できる人材を育成することを目標に、その基礎となる規則正しい生活を習慣づけることの大切さについて理解し、実践できるようにする。
- ⇒思春期の生活習慣が生涯の心身の健康に大きく影響してくることを、本事業を通じて理解できるようにする。

【取組】

- 保健「I単元 現代社会と健康」で授業を実施
・プレコンセプションチェックシートを活用し、生活習慣の見直しを行った。
- 教員の指導力向上のため、**第53回全国性教育研究大会に参加**
・全体会や性に関する個別指導や性被害等の課題別分科会を通して、学んだことをもとに今後の学校の体制等について協議を行っていく。
- 産婦人科医を招へいた授業の実施
・対象学年:第1学年
・講師:産婦人科医
・学習内容:今の自分が未来の自分をつくる!「望ましい思春期の過ごし方」と生涯への影響

目標

思春期特有の心や体の健康問題が、生涯の心身の健康にどのように影響するのかを考え、正しい知識を身に付け、日常生活に生かすことができるようにする。

【課題・改善】

- 生徒が主体的に自分の健康課題に気づき、課題解決に向けた具体的な対策や手立てについて考える時間を十分に確保することができなかった。
- ➔【今後の取組】
○本授業でこの取組を終了させることなく、今後も継続的に保健等の授業を通じて、生徒が自分の健康について考える機会を設け健康教育の充実を図っていく。

【成果】

- 生徒の意識に関する成果
第1学年の単元を通じて、健康と生活習慣について繰り返し考えさせた。本事業を通じて、現在の自身の生活習慣が生涯の家族計画に影響することについて理解を深めることができた。
- 生徒の態度に関する成果
生活習慣や性についての困り事があった場合の相談窓口や対処法を学ぶことができ、生徒が本事業の学習について意欲・関心をもって取り組むことができた。

【取組(詳細)】

○授業 保健「I単元 現代社会と健康」での生徒の取組

産婦人科医を招へいして実施した公開授業では、思春期にある生徒が、現在の生活習慣を見直し、その習慣が自分の生涯にどのような影響を及ぼすのかを考える機会となった。また、現在の自分の生活習慣を改めて振り返ることで、今後起こりうる健康課題に気づけるよう指導した。

更に、一人1台端末を活用し生活習慣と家族計画との関わりについて、プレコンセプションチェックシートを用いて考えさせた。また、生徒が気づいた健康課題を、今度どのように解決に向けて取り組んでいくかを考えさせることができた。



一人1台端末を活用し、プレコンセプションチェックシートに取り組む様子

○教員の指導力向上のために第53回全国性教育研究大会に参加



第53回全国性教育研究大会

<内容>

7月26日(土)・27日(日)の2日間、北海道札幌市内で開催。26(土)は午前中に基調講演や理事長講演、午後に発達段階別に分科会が行われた。27(日)は課題別分科会が行われ、性別違和や性被害・性暴力や性に関する個別指導が行われた。充実した2日間であった。

この2日間を通じて、性に関する個別指導についての課題となるポイントについて学ぶことができた。今後は、生徒指導において学んだことを生かすとともに、各外部関係機関との連携を図っていきたいと考えている。

○産婦人科医を招へいた公開授業

<目標>

思春期における心や体の健康課題が、生涯の心身の健康にどのように影響するかを、規則正しい生活習慣との関わりとともに考え、正しい知識を身に付ける。

<生徒の感想>

- ・性について自分で悩まずに、専門の人に話すことが大事だと思った。
- ・男だから関係ないと思っていたけれど、男女どちらにも関係する と知った。等

<外部人材を活用した授業>

- ・専門家の講話には説得力があり、分かりやすかった。
- ・生徒は集中して取り組んでいた。



産婦人科医の授業の様子